

光栄ある本社之遂行に精進すべし之を思ふは日本國民の
正節の支道たるを、確信して止まざるものなり。
之、我等が今日の同志諸君の、團體明徴徹底の社撃に萬
腔の敬意を表し、多敷く其の聖戰列に参びざる所以なり
以上我等の微衷を披露して同志諸君の諒察を乞ふ所せし
一札、以て正節の支道を免せずと萬文下し聲明す
昭和十二年三月五日

日本郵船會社
平安丸 明朗會員

郵船明朗會の暴撃と曝く

日本郵船會社に單邊の一部機關部是徳高級船員が陸上某之
右翼團體に操られし郵船明朗會なる總的團體の名の下に
上は團體明徴日本主義精神に依る社以改革等々の暴撃が裏面
句を並べたるが其の本質は魯つて左遷せられたる某重役が己の私利
私慾の野望を遂成せんが爲に過去二ヶ年間を亘つて前記高級船
員の一部船員を煽動籠絡して會社側に反抗せしむると共に
故に不般事俾ふべく藉口として陸上某右翼團體に渡りこけり
多額の金銭をハラ撒いて其の應援の下に労働争議でもその
に停船と云う非右派的手段を執らしめ以て威嚇的ト云ふの地
社を確保せんとし、あるのべある此の煽動に乘せられし一部高級
船員が單に團體明徴と云ふ日本主義と云ふ極めて抽象的な言辭を
弄して社規と紊亂し海上の公共機關なる船舶の運航を妨害
し、延いては社會母草に業を行爲に出公高唱として取らざるは